

令和5年第2回教育委員会議事録

開催日時 令和5年2月24日（金）
午前9時30分～午前11時55分

場所 八潮メセナ集会室

出席者 教 育 長 井 上 正 人
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 高 橋 洋 一
委 員 田 口 理 恵

事務局出席者 教育総務部長 荒 浪 淳
学校教育部長 山 本 誠
教育総務部副部長兼教育総務課長
千 葉 靖 志
教育総務部副部長 井 上 隆 雄
学校教育部副部長 高 橋 大 祐
社会教育課長 小 林 勝 己
文化財保護課長 高 山 治
学 務 課 長 山 内 修
指導課長兼小中一貫教育推進室長
和 田 進
学校 ICT 推進課長 菅 谷 昌 史

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和5年第1回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議題

【議案第4号の質疑に対応するため、五十嵐スポーツ振興課長入室】

議案第4号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

八潮市スポーツ推進計画の中間検証と見直しに係る意見聴取について

八潮市スポーツ推進計画の中間検証と見直しを行い、別紙のとおり計画の一部を変更したいので、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第2項の規定により、教育委員会の意見を求める。

令和5年2月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 スポーツ基本法第10条第2項の規定により、八潮市長から八潮市スポーツ推進計画の変更に対する教育委員会の意見を求められたので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質疑]

○木下委員

夢の教室についてももう少し詳しく教えてください。

●五十嵐スポーツ振興課長

夢の教室につきましては、今年度より実施しているものでございます。日本サッカー協会が社会福祉貢献事業として行っている事業で、講師はサッカー選手のみでなく、様々なスポーツのトップアスリートが講師として派遣されます。今年度は予算の関係上、八幡小学校、柳之宮小学校、大原小学校の6クラスで実施をさせていただきました。講師は、八幡小学校がシュートボクシングで女性の日本チャンピオン、柳之宮小学校は陸上の元日本代表選手、大原小学校はサッカーの元日本代表選手に来ていただきました。対象となる学年についてはサッカー協会側として適切な学年を、小学校5年生又は中学校2年生と考えることから、教育委員会と調整し今年度は5年生のみを対象といたしました。また、実施校につきましてはスポーツ振興課で指定するのではなく、校長会等の場をお借りしてお伝えさせていただき、希望のあった学校を教育委員会内で調整し、実施させていただきました。

来年度は対象校を増やせるよう、予算を増額させていただいております。

○木下委員

八條北運動広場の場所などについて教えてください。

●五十嵐スポーツ振興課長

場所でございますが、既に閉館しております草加市柿木の市民温水プールと八潮市のすえひろ荘の間でございます。もともとは五市一町のし尿処理施設があり、新たに別の場所への建替えをすることになったことから、東埼玉資源環境組合から跡地の利用の活用について協議し、令和3年に天然芝の少年サッカーコートを開設いたしました。

○高橋委員

夢の教室に参加された先生方や子どもたちの声をお聞かせください。

●五十嵐スポーツ振興課長

反響はとても良く、学校の先生からは、夢に向かってすぐに動き出している児童もいると伺っております。また、子どもたちから事業の実施前と後でアンケートを取っておりますが、「夢に向かって頑張ろうと思った」という回答が数値的

にも多くなっております。実施した学校の校長先生や教頭先生からも、是非来年度も実施してほしい、できれば中学校にも広げてほしいといったお声を頂いているところがございます。

○高橋委員

八潮市高齢者と障がい者のスポーツの祭典の課題の中に、怪我をする方が発生していると記載がありますが、どのような怪我をされていて、今後どのような対策を行うのか教えてください。

●五十嵐スポーツ振興課長

こちらにつきましては、社会福祉課と社会福祉協議会で行っておりますので詳細について把握しておりませんが、過去に開催した状況を踏まえますと、日ごろあまり運動をされていない方が体育館の中であつまずいて転んでしまったりすることがあるようです。コロナ前に実施していたときは1,000人近い参加者がいたため、スタッフの数も足りておらず目が行き届かないことがあると思います。スポーツ振興課といたしましては、スポーツ推進委員の皆様にも積極的に協力していただき、しっかりとサポートを行い、怪我のないよう努めて参りたいと考えております。

[教育長が採択を行い、出席者全員の賛成により承認される。]

【五十嵐課長退室】

議案第5号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

令和4年度八潮市一般会計補正予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳入歳出補正予算案を八潮市長に要求することについて、議決を求める。

令和5年2月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提 案 理 由 歳入歳出予算の過不足を見込み、令和4年度八潮市一般会計補正予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○加藤教育長職務代理者

1 2 番の地域学習活動推進事業につきまして、全小中学校 1 5 校の実施を見込んでいたところ、6 校の実施になったとのことですが、原因はコロナの関係でしょうか。

●小林社会教育課長

コロナの関係以外にも、学校行事との重複や講師と日程の都合が付かなかったことなど、様々な原因により 6 校の実施となっております。

[教育長が採択を行い、出席者全員の賛成により承認される。]

議案第 6 号

[説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

令和 5 年度八潮市一般会計当初予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳入歳出当初予算案を八潮市長に要求することについて、議決を求める。

令和 5 年 2 月 2 4 日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 令和 5 年度八潮市一般会計当初予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○木下委員

歳入の 3 9 番の地域創造助成金につきまして、助成金というのは毎年いただけるものなのでしょうか。

●高山文化財保護課長

募集は毎年ありますが、採用されるとは限りません。今回は市指定文化財二丁目の獅子舞の獅子頭修理事業が財団の助成事業として採択されたことから予算化いたしました。

○木下委員

歳出52番と121番の警備委託料の内容を教えてください。

●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

市内小中学校の校舎、体育館及び武道場に設置しております機械警備の委託料でございます。

○木下委員

質問ではございませんが、特別支援教育介助員が1名増員されるということで、担当されている先生はトイレに行くのも目を離すことができず大変であるという状況を聞いておりますので、少しでも先生方の負担が減ると良いと思います。

[教育長が採択を行い、出席者全員の賛成により承認される。]

●井上教育長

議案第7号は人事案件のため、秘密会とすべきと考えます。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により議案第7号は秘密会となる。]

議案第7号 [説明者 山内学務課長]

県費負担教職員である校長及び教頭の任免に係る内申について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第38条第2項の規定により、埼玉県教育委員会に任免の内申をしたいので、議決を求める。

令和5年2月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提 案 理 由 県費負担教職員である校長及び教頭の任免について埼玉県教育委員会に内申するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[教育長が採択を行い、出席者全員の賛成により承認される。]

議案第8号 [説明者 山内学務課長]

八潮市立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の一部を改正する規則について

八潮市立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則（令和2年教委規則第21号）の一部を別紙のとおり改正したいので、議決を求める。

令和5年2月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 地方公務員法の改正に伴い所要の改正を行いたいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

な し

[教育長が採択を行い、出席者全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●荒浪教育総務部長

(1) 令和5年第1回八潮市議会定例会会期及び日程表(案)について

会期は2月28日から3月20日までの21日間で、3月8日に総括質疑、9日に総務文教常任委員会、14日、16日、17日に一般質問、20日に採決という予定となっております。なお、一般質問につきましては、3月1日が通告日となっておりますので、後日、皆様に質問事項をお知らせいたします。

(2) 令和5年1月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

教育委員会への投書は8件ございました。内訳としましては、教育総務課1件、社会教育課3件、学務課5件でございます。それでは、各課からご報告申し上げます。

●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

教育総務課への投書は1件、質問は「東京都は、児童手当を増やしたり、第二子の保育料無償化などをおこなっているが、八潮市は何か検討されていることがあるか、できれば、一時的な給付金より幼稚園や小学校の給食費無料などの継続的支援を望む」とのご要望でした。回答としましては、市では、国の制度に基づき所得の低い方などの給食費のうちおかずの部分、いわゆる副食費については補助をしているが、市独自の給付事業は行っていない旨と今後、国県や近隣自治体の動向を注視していく旨の回答をしております。

●小林社会教育課長

1件目は「他自治体の図書館との連携サービスを増やして欲しい。他自治体の図書館の蔵書を市内の図書館に郵送で借りることができるようにして欲しい」との投書内容で回答を要するものでございました。

回答にあたっては、本市の図書館を含む埼玉県内の図書館では、図書館協力ネットワークにより、県内すべての公共図書館の蔵書の相互貸借を行っていること。県立図書館、市町村立図書館、一部大学図書館等の蔵書を取り寄せることができることをお知らせいたしました。また、「八潮市図書館公民館ビジョン」では、読書活動支援の充実強化として、「現役世代に寄り添った資料の収集と蔵書（趣味やビジネス書等）の拡充」を掲げており、今後、ご要望のあるビジネス書の収集にも努めていく旨を回答いたしました。

2件目は「図書館のWi-Fi設置」の投書内容で回答を要さないものでございました。

図書館のWi-Fi設置につきましては、次年度の新規事業として予算化されており、既にその導入が決まっているところでございます。

3件目は「駅周辺に図書館の整備を」との投書内容で回答を要さないものでございました。

現在、土日祝日年末年始を除く午前9時から午後7時までの間で、駅前出張所図

書窓口を開設しています。館としての位置づけではありませんが、図書サービスの利便性の向上を図るため、駅前出張所の一角に図書窓口を併設しています。リクエスト本に対する図書の貸出と返却に特化した形となっていますが、昨年度の貸出件数が3万7,643冊、1,282人の登録者数があり、図書サービスの需要に対応しているところでございます。今後も引き続き、駅前出張所図書窓口の充実に努めてまいりたいと考えています。

●山内学務課長

学務課への投書は4件、1件目につきましては、教育総務課と同じ投書で、説明のあった通りでございます。

2件目の内容は「学級閉鎖の基準の見直しをお願いしたい。クラスの陽性者が2人で学級閉鎖というのは厳しすぎる。仕事に影響が出ている」というものでした。この投書に対して、「文部科学省が定めたガイドラインに沿った対応としていること」そして、「重症化するリスクは以前と比べて低下しているように思われるが、重症化リスクの高い方と同居している方もおり、感染リスクを最大限に下げたいと考えている家庭もある」という内容で回答をさせていただきました。

3件目の内容は、「新設小学校の通学区域について理解できない」、そして、「自校式給食の民意を何故反映しないのか」というものでした。

「説明を求む」との記載がありましたが、投書のフォームでは、「回答希望なし」となっておりましたので業務の参考とさせていただきます。

4件目の内容は、「教員臨時採用の際にお世話になった。丁寧に対応してもらった」というもので、回答を要さない感謝の声でございました。

学務課の主任指導主事は、皆、丁寧な対応を日々心掛けているところでございます。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

指導課への投書は1件、内容は「用水路に公園側から投げ入れたと思われる数学のテストを燃やしたカスが捨ててあった。」というもので、回答を要さないものでした。投書の中に細かな場所などの記載が無かったため指導課でも調査を

行いましたが、テストの現物や該当児童生徒の特定までは至っておりません。

●山本学校教育部長

(1) 学校の様子について

1点目、2月22日に公立高等学校の入試が行われました。追検査は3月6日に行われる予定で、埼玉県内では対象者が104名、この内八潮市の生徒は1名のみとなっております。

2点目、コロナ関連の報告ですが、陽性者数は減少しており、12月19日から23日の週は陽性者が68名発生していましたが、2月13日から17日の週は陽性者が7名、今週20日から24日は2名となっております。

ただ、インフルエンザの感染者が増加しており、1月の感染者は小学校が86名、中学校が14名、学級閉鎖が1月末からで6学級ございました。

3点目、既に報道がされておりますが、卒業式におけるマスクの対応につきまして、県からの文書には、「児童生徒及び教職員は、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とする。ただ、来賓や保護者はマスクを着用するとともに、座席間に触れ合わない程度の距離は確保したうえで参加人数の制限は不要とすること」と記載がされております。市といたしましては、児童生徒数の多い学校では参加人数の制限を不要とするのは厳しいと考えておりますので、2月27日の校長会の中で話し合いをさせていただきます。

●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

(1) 令和5年度定例教育委員会の開催予定(案)について

網掛け箇所が前回からの変更箇所となっておりますので、ご確認いただければと思います。

●小林社会教育課長

なし

●高山文化財保護課長

(1) 資料館講座「八潮の御一新—小菅県と濱野弥右衛門—」の実施結果について

今回の講座では、近世から近代へと政治が大きく変わり始めた頃の八潮を取り上げ、当時、八潮地域が属していた小菅県や県の触元役として活躍した濱野弥右衛門を介して、八潮にとって「御一新」とは何であったのかを考える契機といたしました。

参加者は、12名で、講座についての意見や感想につきましては、「3. アンケート集計結果」をご参照ください。

多くの方に興味を持っていただけたようで、地域理解の浸透と参加者自らの学習意欲の発揚につながったものと考えております。

●山内学務課長

(1) 令和5年度八潮市教職員着任式について

令和5年4月3日に予定しております「教職員」の着任式につきましては、本市の子どもたちの入学や進級、進学を担う教職員が、本市での新たなスタートを迎える意味でも、大変重要な「式」であると考えております。

過去3年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、規模を大幅に縮小しての開催でしたが、令和5年度は、従来 of 形に戻して開催したいと考えております。

教育委員の皆様には、是非、ご臨席賜りたいと存じます。この着任式の詳細につきましては、別途、通知によりお知らせしたいと考えております。

(2) 小規模特認校制度の応募状況について

令和5年度の入学に向けて、体験入学を、令和4年9月26日から9月30日の期間中に行い、7名の児童・園児が参加しました。内訳といたしまして、1名(5年生)は体験入学直後の4年度中に(転入)入学、2名は入学しないことになり、4名は令和5年度から入学することとなりました。

この他、市外からの区域外で入学していた児童1名、現在八條北小学校に在籍している方ですが、令和5年度から小規模特認校制度の活用による通学となります。

現在のところ、八條北小学校に入学する新1年生は「本日現在で7名」と見込んでおり、この内「3名」が小規模特認校制度による入学となります。

整理しますと、令和5年度から新たに小規模特認校制度による入学・転入等は、新1年生が3名、新3年生が新たに小規模特認制度の適用で1名、新4年生が1名の合計5名でございます。

来年度になりましたら、次は、令和6年度の入学に向けて、さらに小規模特認校制度の周知を行い、多くの方に制度を利用して入学していただくよう、取り組みを続けてまいりたいと考えております。

(3) 学校給食について

「学校給食費の収納状況」についてご説明申し上げます。4月から本年1月までの収納率でございますが、小学校が「99.89%」、中学校が「99.10%」、小中学校を合算した収納率は「99.61%」、未納額は「947,557円」となっております。収納状況につきましては、概ね順調に進んでいるところでございます。

また、3学期の学校給食の衛生検査でございますが、2月10日に実施いたしました。今回は、「学校給食提供事業者の調理場」と市内小中学校5校の配膳室の衛生検査を行ったところで、速報値で頂いている結果では、特に問題はないと報告を受けております。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 令和5年1月・2月の事件・事故報告について

内訳といたしましては、不法侵入が1件、消火器噴霧が1件、こちらは児童生徒によるものかは分かっておりません。その他、迷惑行為が2件、不審者情報が1件、家出が1件、校内での事故が3件でございます。校内の事故は3件とも救

急搬送を行いました、大事には至っておりません。全体を通して落ち着いた状態が続いている状況です。SNSを使って知り合い、集団の関係が広がっている状況も見えてきているので、学校や関係機関、保護者のご協力も頂きながら対応を進めていきたいと考えております。

(2) 令和4年度市内小・中学校卒業証書授与式及び令和5年度入学式の出席者について

日程は資料の通りでございます。告辞については3月初めにお渡しさせていただく予定です。

●菅谷学校 ICT 推進課長

(1) 八潮市 GIGA スクール通信 (第 35 号) について

今週 21 日付けで発行した第 35 号では、今月 7 日に実施をいたしました「グーグル活用力向上研修」での内容について掲載を行いました。

今回の研修は、事前に実施をしております「グーグルコア研修」を受講している各校の先生を対象に開催したものであり、グーグルが提供している研修の中でも、上位に位置付けされた研修となっています。

研修の主な内容については、同社が提供している共同編集ツールや各アプリの特徴を踏まえつつ、互いに実践を行いながら、意見交換や共有を行ったものとなっております。

(2) ICT 活用に関する意識調査 (第 2 回) の結果について

こちらは、教職員を対象に 6 月にも実施をしたところですが、前回調査から半年以上が経過したことから、改めて実施をしたものです。

結果につきましては、1 の Chromebook の活用についての項目、授業での活用では「ほぼ毎日、週 3・4 日程度使用している」が、6 月の段階では合計で 53 パーセントであったものが、今回の調査では 74 パーセントとなっています。

また、授業以外での活用についても6月の段階では「ほぼ毎日、週3・4日程度使用している」が合計で53パーセントとなっておりましたが、今回の調査では70パーセントに上昇しています。

次に、2のネットワーク環境に関してですが、こちらは大きな変化は見られないものの、問題があると答えた方は大幅に減少しており、11月から実施した回線契約の見直しなどにより、一定の成果が得られたものと認識しております。

(3) 学校 ICT 推進課による学校訪問について

こちら、前は夏季休業前の7月に実施をしたところですが、前の訪問から半年以上が経過したことから、今月13日・15日の2日間各学校を訪問し、昨年夏に入替を行いました教職員用パソコンや校務支援システム、1人1台端末をはじめとするICT機器の活用状況やネットワーク環境など、各学校で活用を進める中での課題や要望事項等について、管理職の方にヒアリングを実施したところでございます。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

合同報告会の時にこれまでとの違いを感じた点ですが、小坂町に行かれた干越先生の発表の中で、子どもたちのアンケート結果で、「八潮が好き」と回答したのが64.8%だったのに対し「八潮に住みたい」と回答したのが14.4%という結果を知りました。私は、今の子どもたちが将来自分の子どもを八潮で育てたいと思ってもらいたいという気持ちで活動をしていたので衝撃でした。このような結果から、干越先生は小坂町で50%の子どもたちが町外に出てしまう状況を改善する取組みをしているところに着目して、どうしたら子どもたちが八潮に残ってもらえるのかという取組みを考える発表が、これまでには無かった素晴らしい発表でした。

●井上教育長

ありがとうございます。

○田口委員

ICT活用意識調査の結果の中で、クロームブックの活用について、必要性を感じないと回答している方がいますが、なぜ必要性を感じないと思うのでしょうか。

●菅谷学校 ICT 推進課長

そのように回答された方は6月の調査に比べ、若干ではありますが減少している状況です。教育委員会としては階層別の研修会を実施するなど、改善に向けて取り組んではおりますが、体育の授業で使用するには通信環境が整っていなかったり、今までの授業を変えることに抵抗を持っていたりなど、意識的な部分も影響しているのではないかと思います。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。